



DUCTILE TIMES

8月は海水浴が真っ盛りですね。日本で海水浴が始まったのは、幕末。オランダ人が医療行為として始めました。同時に、日本に滞在していた外国人が海水浴を楽しんでいたため、一般に広まるようになりました。日本ではそれまで海に入る行為は「穢れを祓う」神聖な儀式に限られていました。今やレジャーの代表である海水浴。楽しい時間にするために、・流れの早いところには近づかない。・水分と休息をよくとって、飲酒は控えるなど注意しましょう！



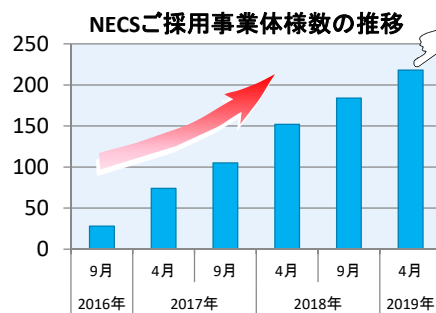
DUCTILE TIMES編集部

お知らせ

NECSを採用される事業体様が 増えています

2016年にデビューしたNECS(NS形E種管)。軽量でかつ経済性の良さから、他の管種から変更される事業体様が続々増えています。

耐震管の基本性能である耐震継手を有し、鎖構造管路を構築することができるNECS。今後、多くの事業体様の管路更新率の向上に期待いただける水道管です。是非、採用をご検討願います。



ご来場御礼 下水道展'19横浜

「下水道展'19横浜」では、お暑い中弊社のブースには、多くの皆様にお立ち寄りいただきました。ありがとうございました！



会場の様子→

Point1 軽量

NS形3種管より軽く取り扱いが容易。呼び径75は人力での運搬も可能。



Point2 経済性

埋め戻しに発生土を使用可能。そのため、初期工事費、ライフサイクルコストともにお得。



Point3 耐震性

鎖構造管路のため、管体自体が伸びたり、地盤の圧縮により座屈が生じることなく、繰り返しの大地震にも耐えることができます。

STRONG!

NECSを採用されている事業体様の声



徳島県 海陽町役場
上下水道課
課長補佐
沼島夏彦様

当町は、呼び径100以下の管路ではVP(RRロング)を採用しておりましたが、2017年度にNECSの試験施工を実施しました。その結果、NECSの施工性、耐震性と経済性を評価し、呼び径75・100でNECSを全面的に採用することを決定しました。

当町では、「耐震継手を持つダクタイル鉄管」を耐震管と定義しており、

樹脂管はその対象外です。耐震型ダクタイル鉄管は、継ぎ手が伸縮・離脱防止機能を持ち、管体自体に強靱性があります。過去の大規模地震での被害も無く、安心して埋設することができます。

また、NECSは経済性に優れており、LCCや初期コストも、VP(RRロング)と大きく変わりません。さらに管の埋め戻し土に発生土を使用すれば、より安価に布設が可能です。

今後も、NECSを継続的に採用することにより、耐震化率の向上、安心安全な耐震管路の構築を推進していきたいと考えております。



青森県 鶴田町
建設整備課
水道技術管理者
永田 忠孝 様

当町では、2017年度より基幹管路以外の呼び径75および100でNECSを採用しております。

基幹管路以外の管における使用材料を検討していた所、耐震継手のダクタイル鉄管と基本性能が変わらず、コストダウンと軽量化を図ったNECSの話を聞き、採用を決定しました。

初年度は、設計段階や施工開始前にメーカーからサポートを受けましたが、次年度からは、メーカーからのサポートも不要になり、NECSは当町の使用管材として完全に浸透しました。

また、施工性について施工会社にヒアリングしたところ、軽量化により運搬が容易となったと評判も上々です。さらに本年度からは呼び径100にて、NECS 5m管を採用しており、さらなるコストダウン、工事のスピードアップを期待しております。

ご協力いただきありがとうございました。